

コロナ危機を乗り越え、野党連合政権と希望ある市政実現へ決意新たに頑張ります

今年は、新型コロナウイルス感染症拡大といった、人類が経験したことのないウィルスとの闘いの一年でした。7年8ヵ月続いた安倍政権、その後を受け継いだ菅政権は、日本学術会議への違憲・違法の人事介入など、前政権以上に強権的で、到底受け入れることはできません。

今年は3月の静岡市議会議員選挙、衆議院の解散総選挙が予定されています。静岡市議団は、市民の皆さんと力を合わせ市政・国政を改革し、くらしを守るため引き続き全力をあげる決意です。今年もよろしく願っています。

日本共産党静岡市議会議員団



しずおか市政新報

日本共産党静岡市議会議員団

市内でクラスターが多発するもと12月18日市長あて緊急の申し入れを行いました。本田副市長が対応、内田、寺尾、杉本の3市議のほか市川正くらし・福祉対策委員長が同席しました。

市議団は①年末年始の相談体制の確立、②医療、福祉、教育、子育てなどの各施設の社会的検査、③保健所や医療機関の体制強化、④事業者への直接支援、⑤国へ財政措置を求める、⑥市庁舎内の感染防止対策の強化の6項目を要請しました。

年末年始については、これまで休日において対応してきた体制を継続すると表明しました。社会的検査については厚労省からも高齢者施設等への検査を強化する事務連絡を示しました。「社会的検査は予算と体制を考えると厳しい」との認識を示しました。

また、困っている事業者への直接支援も予算や制度設計を考えると難しいとの考えを示しました。自治体独自で進めることは予算上の制約があり、国の予算措置が求められます。市議団は今後も適宜申し入れを行い、市民の暮らしと営業を守るために全力をあげます。

新型コロナウイルス感染症拡大、緊急の第5次市長申し入れ行う

新型コロナ対策は最優先課題 21年度予算編成について市長申し入れ

市議団は11月19日、田辺市長に「2021年度の予算編成と行財政運営についての申し入れ（重点要望14項目、局別要望198項目）」を手渡し、市政への反映を要望しました。

内田市議団長は、この間の清水庁舎移転凍結や桜ヶ丘病院の移転先の迷走ぶりにふれ、清水庁舎も桜ヶ丘病院も津波浸水想定区域への移転は断念すべきと迫りました。また、寺尾市議は新型コロナウイルス感染症が拡大し収束が見えない中、市民のいのちと暮らしを守るため、新型コロナ対策を最優先に進めることを強調し、杉本市議は国保料の引き下げ、中小業者支援の強化を訴えました。

田辺市長は、清水庁舎問題には触れず、重点項目にある「児童相談所や里親支援センターの強化、マースなど交通アクセスの充実とコンバクトシティの必要性」など持論を述べました。今後各部署から各項目についての回答を求めています。



他団体と精力的に懇談

JA静岡市と農業振興で懇談

10月22日JA静岡市と懇談、大原組合長は「農協の金融はアベノミクスのゼロ金利政策で大打撃、本来の農産物での利益が必要、じまん市を伸ばしていきたい」と語りました。



静岡市商工会議所と懇談

11月19日、静岡商工会議所と懇談、コロナ禍での経済について、斉藤総務部長は、「感染を抑えながら経済を止めないことが必要。市政にはデジタル化や路面飲食など規制緩和などを期待する。」とのべ、消費税は「下げるのも一案だが上げづらくなる。インボイスはとめてほしい。」と語りました。



市議団が唯一の紹介議員 市民の願い市政に届ける

国民健康保険料の引き下げを求める請願
11月24日 署名5,921筆（最終6,500筆）を議長に提出



子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願
11月24日 署名7,383筆（最終7,396筆）を議長に提出



日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書に関する請願 11月24日提出



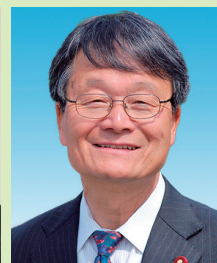
日本共産党 静岡市議会議員団

TEL: 054-254-2111 (内4541)
FAX: 054-272-4695
<http://www.jcps.jp/>

しずおか市政新報第89号 2021年1月1日発行



清水区
内田りゅうすけ議員



駿河区
寺尾 昭議員



葵区
杉本まもる議員

市民の命を守るPCR検査の抜本的拡充、経営危機の事業者を救う直接支援 日本共産党市議団、国民の苦難軽減という立党の精神に立ち市政運営を質す

● 中小業者に年越し直接支援を



杉本まもる議員

新型コロナウイルスの蔓延により、中小業者の経営は困難を極めています。菅政権のプラインである「アトキンソン氏の「小規模事業者や中小企業に『宝』と言えるような価値はない」などの意見について、市の考えを質すと、市は「中小企業・小規模企業は重要な存在」を答弁し、アトキンソン氏の考えを明確に否定しました。

GoToトラベル、GoToイートは、小規模事業者が参加しづらい実態を告発し、相模原市の商品券を使わない飲食業者支援を紹介。さらに、市内の新型コロナウイルス感染拡大のもと、エール応援金による年越しの直接支援を求めると、市は「消費喚起を進める」と実態を見ない姿勢を示したこと、怒りを込めて実施を強く求めました。

● 高齢難聴者の補聴器購入補助は市民の声

加齢性難聴によって人とうまく話ができないと社会から孤立してしまいます。国連や国の新オレンジプランでも「難聴が認知症になる最大の危険因子である」と指摘しています。

しかし、補聴器は高額なため手を出せない人が大勢います。静岡市議会も補聴器購入補助について国に意見書をあげている中、その実施を求めました。市は「購入補助は、大都市議会より国に要望書を提出しており、国の動向等を注視していく」と市民に冷たい姿勢です。改めて、積極的な検討を求めました。

● 清水庁舎について



内田りゅうすけ議員

清水庁舎の移転計画が、新型コロナウイルスの影響で一時停止になっているなかで、①現庁舎設備の老朽化対策について②緊急防災・減災事業債（事業に合致すれば後に国から70%の交付税つけられる制度）の活用も検討すべきではないかと質問しました。答弁で担当局長は、「清水庁舎は、築37年が経過し老朽化が進んでいる。今後の新清水庁舎建設事業の動向を踏まえ改修内容を検討していきたい。緊急防災・減災事業債については、事業再開時、利用可能な補助金や地方債について検討していきたい」と答弁しました。

● 桜ヶ丘病院について

①JCHOに対し、H28年情報提供した移転候補地は、「現清水庁舎跡地」と「桜が丘公園」でした。現庁舎跡地が事実上移転不可能であれば、桜が丘公園を改めて提案すべきではないか。②新たな移転候補地は、津波浸水想定区域で問題ではないかと質問しました。担当局長は、「清水都心のまちづくり、交通結節点での配置、早期の移転新築が可能等、総合的に判断した」と答えました。また、津波浸水想定区域への建設については、「他都市の事例実績を踏まえ検討、発災後の業務継続可能と判断した」と答弁。市長は、桜ヶ丘病院移転をここまで遅れさせた政治責任の指摘に対し、一切答弁しませんでした。

● 地域医療構想について

厚生労働省が進めている地域医療構想で共立蒲原総合病院が統廃合の対象になっています。蒲原病院は、地域にとって欠かすことのできない病院であり、静岡市の認識について質問しました。担当局長は、「同病院は救急医療としても、24時間365日救急患者の受入れを行なうなど、地域の基幹病院として欠かすことのできない病院である。これからも富士市、富士宮市と連携し、医療提供できるよう取り組んでいきたい」と答弁しました。

● コロナ禍のもと学校と家庭へ特別なサポートを



寺尾 昭議員

底、子ども同士の適切な距離の確保や換気を実施しているとの答弁でした。現状35人学級で教室のスペースが限られている中では限界があり、この面からも少人数学級が必要とされています。

緊急事態宣言のもと首相の一声で実施された全国一斉の臨時休業措置は、実態を無視したことも相まって地方自治体や学校現場に混乱をもたらしました。授業の遅れ対策として、1日の授業時間の延長や夏休みの短縮、補習学習で何とか取り戻しましたが、運動会や修学旅行をはじめ多くの学校行事は中止、部活動の自粛など学校生活への多大な影響が答弁でも浮き彫りになりました。

教育委員会が7月に行った子どもたちへのアンケートでも、学習の遅れ、感染や差別への不安があることが明らかになっています。とりわけ特別支援学級の子どもたちへの配慮を求めました。

今後の対策については、安全確保を図りつつ、これまで以上に家庭と連携、学習指導を進めるとの答弁がありました。

学校現場では難しい対応を迫られる中、教員の増員と特別なサポートが必要であること、併せて感染予防対策としてクラスター発生の店名公表、集団生活を営んでいる施設での定期的または任意のPCR検査や抗原検査も全額公費で行うことを強く要望しました。

三件の請願に対する賛成討論

内田りゅうすけ

国民健康保険料の引き下げを求める請願・子どもたちに行きとどいた教育を求める請願・日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書に関する請願

日本共産党市議団は、紹介議員として賛成討論を行いました。国保については、コロナ禍で苦しむ低所得者の皆さんが安心して医療が受けられるよう引き下げを求めました。教育の請願では、コロナ禍のなか、臨時休校で一時的に20人学級が実現し、子ども、教員共に充実した学校生活を送れた経験から少人数学級・教職員の増員を求めました。核兵器禁止条約については、静岡市の「平和都市宣言」の精神、平和首長会議が核兵器禁止条約の早期発効を求める特別決議を挙げていることを指摘、意見書の採択を求めました。

採決の結果三件の請願はいずれも不採択となりました。

11月議会 主な議案・請願等への態度

議案・請願の内容	審議場所	○賛成 ×反対					
		日本共産党	自民党	志政会	公明党	創生静岡	緑の党
令和2年度静岡市一般会計補正予算(第7、8号)	本会議	○	○	○	○	○	○
令和2年度静岡市特別会計補正予算	本会議	○	○	○	○	○	○
令和2年度静岡市企業会計補正予算	本会議	○	○	○	○	○	○
国民健康保険料の引き下げを求める請願	本会議	○	×	×	×	×	○
子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願	本会議	○	×	×	×	×	○
政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書に関する請願	本会議	○	×	×	×	×	○
トリチウム汚染水の海洋放出に慎重な判断を求める意見書提出を求める請願	本会議	○	×	×	×	×	○